

一年間、充実した活動ができました

校庭の花も咲きほころびはじめ、春めいてきました。本年度も残すところあとわずかとなりました。卒業式等に向けてお忙しいことと思います。

さて、本年度より、大牟田市は、文部科学省の推進事業を受け、福岡教育大学等とESDコンソーシアム(連合体)を結成し、ESDを推進してまいりました。その結果として、ESDのさらなる普及発展を図ることができました。また、各学校では、①学校・学年だより②地域・保護者への発表会③地域・保護者の参加体験型の行事④ユネスコスクール子どもサミット⑤スライドショー⑥新聞掲載⑦ユネスコスクールだよりなどを通して、多くのすばらしい成果を発信していただきました。来年度も、ESDのさらなる深化を図り、充実した活動を行うことで、さらに普及発展を進めていきたいと思います。

大牟田コンソーシアムHPが開設されました！

ESDをさらに広く発信するために、待望の大牟田コンソーシアムHPが開設されました。大牟田市内各小・中・特別支援学校の様々なESDの取組等が掲載され、充実した内容になっています。委員会HPからご覧になれますので、今後も積極にご活用ください。また、先生方からも、このHPをあらゆる場で、広報していただきたいと思っております。

世界遺産シンポジウムin三池

三池炭鉱・三池港の世界遺産登録を目指したシンポジウムが以下の要領で開催されます。様々なイベントが企画され、ESDとの関連もありますので、お時間がありましたら、ぜひ参加して下さるようお願いいたします。

日時 平成27年3月15日(日) 13:00~16:50

場所 荒尾市文化センター 大ホール

定員 1,000人

申し込み方法 FAXか郵送 FAX番号 0968-62-1218

申込用紙 荒尾市HPよりダウンロード

提出先 〒864-8686(住所不要) 荒尾市教育委員会 世界遺産推進室

※ パネルディスカッションには、駿馬北小学校の蓮尾敏之教諭が参加し、駿馬北小学校の取組を紹介します。



大牟田市立歴木中学校の実践

福祉体験学習を通して

本校の1年生は、総合的な学習の時間で3つの体験活動(①絵本教室、②疑似体験、③施設訪問)を行いました。絵本教室では、「認知症」について学習を行い、認知症についての理解を深めることができました。疑似体験では、相手の立場になって考える力やコミュニケーション能力が必要であることを理解することが出来ました。福祉施設訪問では、実際に高齢者の方々とふれあい、関わることで高齢者の方々とのつながりを感じることができました。この取組を通して、高齢者の方々とともに幸せに暮らせる「大牟田のまち」を築いていくためには何ができるか①自分ができること②みんなのできる③地域の一員としてできることを考え、グループごとに発表会で意見を交流し合いました。生徒からは「高齢者の方が日頃どのように過ごされているのかを身をもって体験し、相手の立場になって接し、どのようにサポートしたらいいのか、どう声かけをしたらいいのかを考えるいい機会となりました」という感想が聞かれました。



大牟田市立白川小学校の実践

「白川校区じまん隊」の学習を通して

白川小学校では、まちづくりに積極的に取り組む人や高齢者が多いという地域の特色を生かして、「住みよいまちづくり」をテーマに、地域の方々とのつながりを大切に学習を進めています。3年生では「白川校区じまん隊」という学習を行い、見守り隊の方々や堂面川を守る方、地域のお店や病院の方などへのインタビューを中心に調べる活動を行いました。学習の最後には関わってくださった方々にお礼の手紙を書いて渡しました。自分達の地域への関心を高めるとともに、「私たちは大切に思われているんだ」ということが実感でき、挨拶への行動意欲にもつながりました。これからも人との「つながり」や「関わり」を尊重する児童の育成を目指していきたいと思っております。

